



やなぎしましょう 柳島小だより

令和6年 11月1日
茅ヶ崎市立柳島小学校
校長 赤池 理

学校教育目標 — 21世紀を担う柳島小学校の子どもたち —
豊かな心を持ち、意欲的にたくましく生きる子どもの育成

10月11日に前期の終業式を行い、休日を入れて5日間の秋休みを挟み、17日には後期の始業式がありました。4月から比べると、とても大きく成長している子どもたちは、いずれの式も顔を上げ、しっかりと話を聞くことができていました。

後期の始業式では、サル騒動に伴い、日光の三猿のお話をしました。子どもの頃は悪いものを「見ない、言わない、聞かない」ことが大切、という意味があるそうですが、三猿がある建物には全部で8つの場面の彫刻があり、そしてそれは、一生を表しています。最初は赤ちゃんサルの横にお母さんがいて、遠くを眺めています。子どもの明るく爽り多い未来を眺めていると言われています。次が三猿。子どもの頃の教えです。そのあとは、青年となり、友だちと歩み、時には挫折を味わい、恋をし、パートナーを得て、共に人生の荒波に立ち向かっていきます。8つ目の場面では母サルのおながが大きくなり・・・つまり、赤ちゃんの誕生です。そして、最初の場面に戻る。つまり、一生の繰り返しを繰り返しているというわけです。サルも一人では生きていけません。周りに支えられながらも、自分自身をしっかりとって、人生（サル生？）に臨んでいます。今は小学生の子どもたち、良いものを周りにいっぱい用意してあげたいですね。そして、良いものを見て、良い言葉を口にして、その良い話を聞いてほしいですね。

秋休み明け、まさかのサル騒動でしたが、保護者の皆様、地域の皆様、登下校の際の見守り等、いろいろとお世話になりました。ありがとうございました。

行楽の秋を満喫しています。

9月30日には4年生が相模原市の藤野北小学校との交流に、10月30日には1年生が江ノ島水族館へ出かけました。

6月には藤野北小学校の4年生3名をお招きしましたが、今回は藤野町までお出かけをしてきました。体験の森やませみの横を流れている沢井川に入り、川に生息する生き物とふれあいました。びっくりするぐらいの大きな魚を捕まえた子もいました。3年生が行ってきた真鶴海岸での海の生き物探しとはまた違い、川のすばらしさを感じることができました。



1年生は初めて遠くまでの遠足でした。最初は、小田原わんぱくランドに行く計画でしたが、あいにくの悪天候が続いてしまったので、江ノ島水族館に変更となりました。水族館は見どころが満載。幻想的なクラゲショーや、ダイナミックなイルカショー、大きな水槽でエイやサメなどのたくさんのお魚たちが見られるダイビングショーなど、さまざまなイベントも楽しみました。どれも、子どもたちはとても大きな歓声を上げて喜んでいました。